

令和4年度 第5回清里区地域協議会次第

日 時：令和4年7月21日(木)

午後3時

場 所：清里区総合事務所 第3会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 所長あいさつ

4 協議事項

・自主的審議事項について

資料1～資料3

5 その他

6 閉 会

私が考える清里区の宝

<ul style="list-style-type: none"> ・ 坊ヶ池湖畔 星のふるさと館、スターフェスティバル、櫛池隕石、ビュー京ヶ岳、そば祭り、京ヶ岳城址、キャンプ場、坊ヶ池用水施設、 景観・夜景 ・ 史跡 菅原古墳、菅原神社、梨平水島磯部神社、白看板城址、 岡野町の大ケヤキ、櫛池の大杉 ・ 郷土芸能 八社五社踊り、梨平古代詞 ・ 自然 田園風景、岡嶺大地の畑、ジュンサイ、清里米、水（妙高酒造の仕込み水）、ブナの木トレッキング、信越トレイル、 ・ その他 サマーカーニバル清里坊太郎まつり、清里区体育祭、未知草、 ランニングコース（岡嶺台地周辺） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清里区の自然を守る活動 ・ 清里の自然環境とマッチした農村環境の保全 ・ 清里地域を誇りに思う住民性（歴史、伝説、自然を守り伝えようとすること） 地域活動に取り組む住人が多い ・ 若者の農業への取組 ・ 住人同士が共感を持てる取組 ・ 素朴な人情
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地の農地を維持する生産体制（組織） ・ 道路除雪の技術と体制 ・ 総合事務所周辺の利便性・コンパクトさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清里区だけでなく各地区の宝と一緒に周知すれば清里区の活性化につながるのではないか ・ 子どもから高齢者まで一緒に活動できる観光農園や、農業体験施設があれば良いのではないか ・ 移住体験ができる住宅があれば良いのではないか ・ 交通手段とちょっとしたものが買える商店があれば良い ・ 公共交通網の存続や有償ボランティアの活用等により利便性は確保できるのではないか ・ ちょっとした買い物ついでに、人々が憩える場が復活すれば良い

6月24日の勉強会の意見まとめ

- ① これまでの地域活動支援事業では活動団体が活動の必要性を提案してきたが、これから委員が考えることは、そうした活動の中から地域にとって必要な取組を選んでいくことか。
 - ② 委員だけで考えていくことはうまくない。
区民の意見を反映したものでないと予算化にもっていきるのは難しい。
活動団体と話をして考えたらどうか。
 - ③ 協議会として何を大事にするか方向性を決めないと、どのような団体と話をするのも決められない。
 - ④ 地域協議会として何のために坊ヶ池振興をするのかを明らかにしないといけない。
それを踏まえて必要であれば、活動団体と話をすることもあっていいのではないか。
-
- ⑤ 週末になると坊ヶ池に車が昇っていく。カフェには客もたくさん来ているようだ。
 - ⑥ 市としても大切な中山間地域農業を守るためには何が必要か。
農業を守るには農業用水が必要で、その水源として大事な坊ヶ池とその周辺環境整備をする櫛池農業振興会の取組を大切にしないといけない。
 - ⑦ 大きな視点で清里区にとって一番大事なものを考えたら坊ヶ池湖畔の活性化なんだということをアピールしていかないと市も予算配分してくれない。

今後の地域協議会の進め方

1 6月24日の勉強会の振り返りと今後の議論の進め方

【振り返り】

- ・委員の皆さんの考えは、「区内を見渡すと、坊ヶ池周辺の取組（ビュー京ヶ岳カフェ、星のふるさと館のスターフェスティバル、坊ヶ池湖畔活性化事業）が重要で、支援が必要なのではないか」という方向。
- ・支援が必要な理由は、清里を象徴する場所、施設で、市内外から人を呼び込んでいる（地域の中で関わる人、雇用があり商売になっている）。中山間地農業を守るためにも坊ヶ池の機能、環境を維持する取組は大切。

【考えないといけないこと】

- ・地域協議会として、坊ヶ池に関わる取組だけを支援するのか。
- ・地域の内外の皆さんが納得できるよう支援の理由を考えておかないといけない。
- ・上記振り返りの中の理由だけで、地域活動支援事業の他の提案団体や地域の皆さんが納得するのか。

【取り組むこと、もう少し考えること】

- ・理由を補強するために活動団体（櫛池農業振興会、天文指導協力員会、きよさと観光交流協会など）から詳しく話を聞いてみる。
- ・他の活動団体や地域住民から意見を聞かなくていいか。

【支援の仕方、令和5年度の予算】

下記支援のいずれかを選択

支援① **自主的審議**を経て市に意見書提出

- ・「坊ヶ池周辺の活性化の取組」について、自主的審議により、「なぜ取組が必要か、取組が地域振興にどれだけ貢献するか、どのような支援を行うか」といった項目について、地域協議会の考えをまとめ、市への意見書とする。

支援② **元気事業**として関係課の予算計上につなげる

- ・上記自主的審議により地域協議会の考えをまとめた後、取組に必要な経費を所管する課、関係団体とともに経費の精査を行い予算化に向け検討し、予算計上につなげる。

2 「地域振興の方向性」の作成

- ・どうやって作っていくか。
- ・これまでの勉強会での委員の皆さんの意見や「私が考える清里区の姿」から、ひとまず事務局が、たたき台を作り検討するか。